

教える人を育てる 学習者が先生です

インストラクターは、あなたの仲間です。仲間がみんな「教えるのがうまい」状態になれば、チームの技能が上がり、近い将来、あなたの仕事はスイスイ進みます。つまり仲間に力を与える、仲間を育てる・・・は、自分の援護射撃になるのです。そのためには、インストラクターに対するあなたのフィードバックが役立ちます。

Yes の時は、() に✓をつけて下さい。

No の時は、空白のままです。

判断に迷う時も、空白のままにしてください。

無理に✓をつけて、間違ったメッセージを送ると逆効果です。

記入できたら、コースのディレクターに提出しましょう。

学習者がインストラクターを診断 チェックリスト

コース名 () 受講者(記入者)名 ()
インストラクター名 ()

(A) アイコンタクト

- () インストラクターのアイコンタクトは過剰。このためか、説明が押しつけがましく感じた。
- () インストラクターのアイコンタクトは皆無。このためか、説明が他人事のようなだった。
- () インストラクターのアイコンタクトは、心地よかった。

インストラクターは、アイコンタクトを取るタイミングを心得ていたのだろう。

(B) 私の質問に対するインストラクターの反応

- () まず「良い質問ですね」と誉めてくれた。教育的配慮で誉めてくれているのだと内心わかっていたが、嬉しい感じがして、次にまた質問しやすくなった。
- () 答えるとき Yes. No. It depends.などの言葉が最初に来るので、説明が理解しやすかった。
- () インストラクターも知らなかったようだが、インストラクションを見ながら、説明してくれた。
- () インストラクターの回答は見事だった。私も、早くあのようにになりたい。
- () インストラクターは、「私には、わからない」と正直に告白した。

ごまかしが無いので好印象を受けた。さらに、「一緒に調べましょう」と提案してくれた。

(C) 私の答に対するインストラクターの評価

- () 私の答には正解と不正解が混在していたが、インストラクターは、まず正解の方を評価してくれた。
- () 私の答で不正解の部分には、「ほかの考えは、無いでしょうか？」と婉曲に示唆してくれた。

(D) Readiness について

Readiness とは？ 人間が思考するためには、その時の意識に関連の記憶を読み込む必要があります。これは、コンピューターのプログラムが作動するにあたり、CPUのメモリにデータを読み込む作業に似ています。

人に説明するとき、説明する人は **ready** になっていますが、説明を受ける側は、必ずしもそうではありません。相手が **ready** になっていないのに、話を始めても、話がトンチンカン。

ready になるのに必要な時間は、個人差があり、**ready** になっているか否かを推察する能力は、あなたの教育能力の秘訣です。

- () インストラクターは、説明を始める前に、今からどのような内容のことを説明するのか、概略をキーワード3つくらいで表現してくれたので、私の思考のモードが **ready** になり、受け入れがスムーズだった。
- () インストラクターは、私が内容を咀嚼、理解し、次の内容へ **ready** になったのを確認しつつ、一歩ずつ説明を進めてくれた。
- () インストラクターは、切れ目なく次々に話を進めたので、私の理解は混乱した。
- () 「わかったか？（間断を置かず）はい、次に進みます」が無かった。嬉しかった。

「わかったか？」の落とし穴。 人間、この種の問いかけに対して、理解していなくても、

「はい」と返事をしがちである。学習者が理解したか否か、即断できない。

理解した内容を学習者が口に出す、これが「わかった」を判定するのに最適。

または、「わかったか？（たっぷり時間を置き、アイコンタクトを取り）はい、次に進みます」とする。

(E) インストラクターのキャラクター

- () インストラクターの熱意が、ひしひしと伝わってきた。熱意に応える気になった。
- () このインストラクターは、自分の熱意を態度に出さない性格のようだ。これで、かなり損をしている。私も同じような性格だが、教える時には表情を豊かにしたいと、感じた。
- () インストラクターは、開始と終了時に、大きな声で、挨拶をした。少し照れくさかったが、ケジメがついて良かった。にこやかな挨拶が自然にできるキャラは、得だと思った。

Professor, Role Model, Facilitator, Instructor, Coach

大学では、研究の現場を学生と共有することが、教育です。Professor は専門分野の碩学であって必ずしも教育学の専門家ではないのですが、次の世代の Role Model であることが求められます。

大学生は一人前の学徒として能動的に学習する、これが大学で学ぶ根底条件です。しかし学生はいまだ発展途上人の側面が大きいので、能動的学習を促進してくれる Facilitator が必要です。さらに効果的なのは、教育学だけでなく教える内容にもある程度通じた Instructor による指導です。

Coach は人間が内面的に持っている自発性を引き出して、当人の成願を助けます。coaching の技術は、大学生のような成人を教える教育学の基本原理です。